



2026 年 6 月 パリ展におけるゾア・スコロパデンコ作品の展示風景

報道関係者各位 2026 年 9 月 10 日

現代美術と相撲の「生きた文化遺産」が会う

ゾア・スコロパデンコ展 『SUMO: The Sacred Spirit／相撲：神聖なる魂』

2026 年 10 月 12 日（月）～18 日（日） | 東京・アネックス青山

東京ー2026 年 9 月 10 日ーウクライナ出身、モナコを拠点に国際的に活動する現代美術家ゾア・スコロパデンコは、2026 年 10 月 12 日（月）から 18 日（日）まで、東京・アネックス青山にて『SUMO: The Sacred Spirit／相撲：神聖なる魂』を開催します。現代美術作品と、江戸・明治期を含む希少な相撲関連資料を通じて、相撲に息づく儀礼、規律、身体性、文化的記憶を紹介します。

本展は、スコロパデンコによる現代作品と、日本の相撲文化に関わる歴史資料を組み合わせ、現代の芸術表現と、日本を代表する伝統文化の物質的・精神的遺産との対話を試みるものです。相撲を単なる競技としてではなく、独自の視覚言語、儀礼、生活文化を備えた「生きた文化」として捉えます。

本展でスコロパデンコが向き合うのは、相撲の聖なる核心です。すなわち、本場所という公の舞台の背後に息づく伝統、儀礼、そして精神的な気配です。制作にあたり、彼女はこの深層が今も感じられる場所を訪ね歩きました。相撲ゆかりの神社を訪れ、土俵祭に参列し、相撲部屋に入り、土俵を取り巻く所作、道具、清めの行為を見つめてきました。

これらの出会いが本展の出発点となりました。スコロパデンコのドローイングと絵画は、取組の瞬間だけを描くものではありません。その一瞬を成立させる世界ー準備、反復、静寂、規律、そして世代から世代へ受け継がれる畏敬の念ーをたどります。『SUMO: The Sacred Spirit／相撲：神聖なる魂』は、観客をスポーツから儀礼へと続く境界の向こう側へ導き、土俵を単なる競技の場ではなく、霊性を帯びた神聖な空間として体感するよう誘います。

本展の構想と空間演出は、フランスを代表するセノグラファー、パスカル・ロドリゲスが手がけます。これまでにポンピドゥー・センター、グラン・パレ、パレ・デ・パプ、パレ・ド・トーキョーなどのプロジェクトに携わってきました。現代作品と歴史資料をひとつの没入型空間に統合することで、アネックス青山の全体を通して、相撲の建築性、象徴性、精神的な雰囲気立ち上げます。

世界各地で紛争と不安が続く今、『SUMO: The Sacred Spirit／相撲：神聖なる魂』は、困難を乗り越える力、敬意、そして希望という、シンプルでありながら力強いメッセージを伝えます。本展は、芸術を通じて平和を願う祈りでもあります。

本展の見どころ

- 相撲の規律、儀礼、日常、神聖性を、実地での観察とドローイングを起点に表現した現代美術作品
- 行司が用いる軍配団扇をはじめ、江戸・明治期にさかのぼる歴史的な相撲資料

- 20 世紀初頭のものとされる、精緻な刺繍が施された歴史的な化粧まわし
- 相撲の造形、儀礼、文化的記憶を伝える関連資料、アーカイブ、作品群
- 作家インタビューのほか、調整状況に応じて関係者、資料所蔵者、相撲文化の専門家への取材機会

歴史資料を単なる装飾として展示するのではなく、現代美術と対話する存在として位置づける点も本展の特徴です。軍配、化粧まわし、所作、色彩、象徴に注目し、相撲がどのように権威、祈り、忍耐、共同体の記憶を伝えてきたのかを浮かび上がらせます。

「相撲は、力を競うだけのものではありません。長い歴史、厳格な規律、儀礼、そして圧倒的な人間の存在感によって形づくられた、ひとつの完全な視覚世界です。本展は、その世界と、伝統や神聖な知識を未来へ受け継ぐ人々へのオマージュです」

ーゾア・スコロパデンコ

日本との長年にわたる芸術的な関わり

スコロパデンコは、展覧会、ライブドローイング、文化交流プロジェクトを通じて、日本との継続的な関係を築いてきました。東京をはじめ日本各地で作品を発表し、福島、日本の風景、都市の日常、相撲文化などを題材としてきました。

これまでに東京ミッドタウン「こいのぼり GALLERY」への参加、相撲を題材としたシリーズ『Life of the Champion』の発表などを行っています。彫刻作品《The Hope》は 2015 年に福島県相馬市に設置され、別の一体はキーウのウクライナ国立チョルノービリ博物館に収蔵されています。2025 年から 2026 年にかけては、北海道の大鵬相撲記念館で『Life of the Champion』展を開催しました。2019 年には Art Fair Tokyo に特別ゲストとして参加し、2025 年には Osaka International Art でモナコを代表して作品を発表しました。

今回の東京展では、この長年の関係をさらに発展させ、相撲をスポーツとしてだけでなく、独自の歴史、精神性、視覚言語をもつ文化として紹介します。

ゾア・スコロパデンコについて

ウクライナ出身、モナコ在住の現代美術家、キュレーター、文化プロデューサー。パリおよび東京とも密接な活動基盤を持ち、絵画、ドローイング、版画、彫刻、陶芸など多領域で制作しています。代表的なシリーズに『TORSO』『Intellectual Landscapes』『Coffee Drinkers』『Life of the Champion』があります。人、場所、日常の対象を直接観察し、簡潔で力強い造形言語へと変換する制作で知られています。

ウクライナのクリヴィー・リフで美術教育を受け、リヴィウのイヴァン・フランコ記念国立大学で学びました。2011 年、モナコ公国政府よりプロフェッショナル・アーティスト（画家）として正式に認定。独立系現代美術スペース「La Vitrine Contemporaine de Monaco」の創設者でもあります。

2012 年にストラスブールの欧州議会でウクライナ美術展を企画し、2013 年には欧州評議会で個展を開催。2015 年にはロンドン証券取引所ライフル・クラブの歴史的会場で作品を発表しました。福島およびチョルノービリに関わる文化・慈善活動にも継続して取り組んでいます。

パスカル・ロドリゲスについて

パスカル・ロドリゲスは、フランスの建築家 DPLG、セノグラファー、展覧会デザイナーであり、20 年以上にわたるキャリアを有します。建築的な厳密さを没入型の空間演出に取り入れ、複雑な芸術的・文化的物語を、観客が作品、思想、歴史と出会うための環境へと変換してきました。

そのセノグラフィーは、ポンピドゥー・センター、グラン・パレ、オルセー美術館、ケ・ブランリージャック・シラク美術館、フィルハーモニー・ド・パリ、Mucem、レ・ザバトワール、パレ・デ・パプ、カンヌ・パレ・デ・フェスティバルなど、主要な文化機関で発表されています。

2024 年には、ポンピドゥー・センターで開催された大規模な『ブランクーシ』回顧展のセノグラフィーを手がけ、フィルハーモニー・ド・パリの『Kandinsky: The Music of Colours』も担当しました。国際的なプロジェクトには、北京および上海の UCCA で開催された『Matisse by Matisse』があり、さらにジェフ・クーンズ、アルベルト・ジャコメッティ、ニキ・ド・サンファル、ロミー・シュナイダーなどを扱う展覧会にも携わっています。

2026 年には、グラン・パレとポンピドゥー・センターの共同企画による、スウェーデン抽象絵画の先駆者に捧げたフランス初の大規模展『Hilma af Klint: The Paintings for the Temple』のセノグラフィーを担当しました。

開催概要

展覧会名	SUMO: The Sacred Spirit／相撲：神聖なる魂
作家	ゾア・スコロパデンコ
セノグラファー	パスカル・ロドリゲス
会場	パソナグループ アネックス青山
住所	〒107-8351 東京都港区南青山 3-1-30 PASONA SQUARE
会期	2026 年 10 月 12 日（月）～18 日（日）
一般公開	10 月 12 日（月）11:00～
プレス向け紹介	10 月 15 日（木）12:00～（予定）
公式レセプション	10 月 15 日（木）18:00～20:00
開場時間	11:00～18:00
入場料	無料
アクセス	東京メトロ銀座線「外苑前」駅 1a 出口より徒歩約 5 分／「表参道」駅 A4 出口より徒歩約 5 分
対応言語	日本語・英語・ウクライナ語
主催・企画	ゾア・スコロパデンコおよびプロジェクトチーム
会場協力	株式会社パソナグループ
協力	在日ウクライナ大使館、ウクライナ相撲連盟
公式サイト	https://www.zoiaskoropadenko.com/sumobyzoia

取材・お問い合わせ

日本国内：有馬佳子 | ゾア・スコロパデンコ日本代表

電話：+81 90 4433 6153 | メール：yoshiko.arima@yuhmi.jp

海外メディア・作家インタビュー：Zoia Skoropadenko Studio

メール：zoia.skoropadenko@gmail.com | 電話：+33 6 01 14 65 60

ウェブサイト：<https://www.zoiaskoropadenko.com/>

スポンサーシップに関するご案内

本展に関するスポンサーシップのご提案、ご依頼および関連連絡は、ゾア・スコロパデンコとプロジェクトチームが直接調整・管理しています。株式会社パソナグループは会場協力として本展を支援しており、スポンサー募集およびその調整には関与していません。

編集部向け資料

- プレス画像・作品画像・作家ポートレート・キャプション：<https://www.zoiaskoropadenko.com/press-kit-1>
- 作家インタビュー：日本語・英語・ウクライナ語で調整可能
- 歴史資料の詳細、所蔵情報および画像クレジットは、確定後に個別提供します